

- ◆企画名 結構かんたん！コミュカ基本の「キ」  
日 程 平成 25 年 12 月 11 日 (水)  
場 所 総合学生会館凜風館 4 階 ミーティングルーム  
参加者数 25 名 (ピア・サポータ 12 名、一般学生 13 名)  
目 的

学生相談室やほっこり相談室の利用者には、大学で友人を作るタイミングを逃した学生が多い。そのような学生を対象とし講演会を行う。最終的には、参加者に自分自身のマニュアルを作ってもらい、友達作りの“最初の一歩”を踏み出せるようになるきっかけを提供することを目的とする。

#### 内 容

- ① コミュニケーションについて正しく理解する為の講義
  - ② 人間関係を円滑にするための表現技術を学ぶワーク (挨拶+自己紹介+協力関係)
  - ③ あたため言葉と冷たい言葉のかけ方もらい方
- など、講義とワークを織り交ぜながら参加者にコミュニケーションのコツを掴んでもらい、講演会から帰った後の人間関係をより円滑に進められるためのサポートとなるような内容である。

#### 感 想

- ・講義やワークを織り交ぜることにより、講義型と参加型のそれぞれのメリットを統合した講演会ができたと考えられる。
- ・ピア・サポータが大勢来ていたので、他のコミュニティとの交流も兼ねられた。
- ・椅子の配置やメンバーの役割、先生の入り時間など、事前にしっかり段取りを組んで情報共有をしていたために当日の準備はスムーズに行えた。
- ・学生相談室とほっこり相談室が合わさることで講義の中に学生らしさも加わり、より身近に人間関係について学べた。

#### 改 善 点

- ・ビデオ/カメラ撮影の許可を初めにとっておかなかった。参加者の気を散らさないためにもしっかりと伝えておくべきであった。
- ・アンケートのことを考えておらず、講演中に急遽作ったのは準備不足だった。
- ・部屋の温度や人の出入り、先生への咄嗟のサポートなど、運営側は講演会に気を集中させ、講演会の質を下げないためにも常に周りに気を配り続けるべきであった。
- ・20:00 までのはずが時間をオーバーしてしまったので、帰りの段取りも事前にしっかりと組み時間は正確に守るべきであった。

